

臨床研究へのご協力をお願い

東京医科大学病院放射線科では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究課題名]

whole-body diffusion-weighted MRI (WB-DWI) による Ra-223 治療効果判定の検討

[研究の背景と目的]

塩化ラジウム (Ra-223) (ゾーフィゴ®) による去勢抵抗性前立腺癌の骨転移治療の有用性はよく知られていますが、治療効果判定方法が確立しておらず、現在はいろいろな画像診断を組み合わせ総合的に判断されています。

一方で、MRI 拡散強調画像(WB-DWI) による前立腺癌の評価に関して昨今報告されていますが、それらは主に原病変の評価および病変の広がりに関するものです。Ra-223 治療においては、個々の骨病変の特徴によって効果を示す個所とあまり示さない箇所があることがわかっていますので、それらを今回の検索方法で解析することにより、どのような特徴を有する骨転移を示す症例に Ra-223 を用いれば良いか分かるようになる可能性があります。

[研究の方法]

● 対象となる方

2017 年 1 月 1 日から 2022 年 3 月 1 日までの間に Ra-223 治療を受けられた方。

● 研究期間

医学倫理審査委員会承認日から 2023 年 12 月 31 日

● 利用する検体やカルテ情報

電子カルテより、年齢、性別、症状、画像情報などの診療情報を抽出します。

- 検体や情報の管理

個人を特定できる情報(氏名、生年月日、患者ID)を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者へ個人情報情報が漏れないように配慮いたします。

[研究組織]

【研究責任者】

吉村真奈(教授) 東京医科大学病院放射線科

【研究分担者】

荒木洋一(東京医科大学病院放射線部)

高橋由武(東京医科大学放射線医学分野 客員講師)

大野芳正(東京医科大学病院泌尿器科 主任教授)

有蘭英里(東京医科大学病院放射線科 後期研修医)

齋藤和博(東京医科大学病院放射線科 主任教授)

[個人情報の取扱い]

研究に利用する情報は、患者さまの氏名、年齢などの個人情報は一切含まれない匿名化した識別番号のみで取り扱います。また、患者さまの臨床データ(病名など)に関しても、匿名化して厳重に管理・保存します。結果は学会や論文として発表させて頂くことがありますが、患者さんを特定できる情報は一切含まれることはなく、患者さんのプライバシーの保護には十分配慮致します。

[問い合わせ先]

東京医科大学病院放射線科

電話番号 03 - 3342 - 6111(代表) (内線)5818

担当医師: 吉村真奈